熊歯会報

11
2006

Kumasi Kaihou

2006年11月15日
No.607

熊本県歯科医師会

熊歯会報 11月号

2006

— 表紙に寄せて —

七五三で神社にお参りの後の一枚です。子供はおみくじが大好きですね。

何が書いてあるのかわからなくてもくじを開けている時は真剣そのもの！

(K.I)

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

もくじ

巻頭言　常務理事　西野隆一 ……3

臨時代議員会 …… 4～9

総会・郡市会紹介（下益城）……10

理事会……11～13

委員会だより ……14～19
（学術）（社保）（厚生管理）（広報）

支払基金 ……20

郡市会だより ……21～25
（鹿本、人吉、天草、菊池、八代、上益城、阿蘇）

学院……26

つどい……27

会務報告 ……28～30

編集後記

「悩ましい問題」

常務理事　西野　隆一

先日、ある会合で、来年の参議院選挙を歯科医師会を挙げてがんばりましょう、という話の後で、ある先生が「私たちだけが頑張って、歯科の代表者が当選したら歯科界は今よりも改善されるかもしれない。しかし、その恩恵は、会員だけでなく未入会の歯科医も受けるのだから、未入会の歯科医にも当然協力を求めるべきである」という話をされていました。私は、なるほど、その通りだと思いました。また、今年の３月の、あの忌まわしい点数改正説明会も、今回から歯科医師会の主催でなく支払基金の主催で開催されたのですが、その理由は、歯科医師会の今の組織率では、県下の全歯科医師に通知が行き渡らないからという屈辱的なものでした。これに関連して、以前保険医協会に加入していながら、本会未入会の方々とお話をする機会があったのですが、彼らによると、当初は入会を検討していたが、近所の歯科医師から同意が得られなかったこと等があり入会を見合わせたということでした。また、別の方は、開業して一番資金が必要な時期の入会は、高額な入会金が問題でためらっている内に、年月が経過し、入会しなくても経営が安定してきたためにそのままにしているというものでした。また、別の方は、入会すると、様々な会の役員を引き受ける事になるだろうから診療に集中できないだろうと懸念して入会しなかったという事でした。

これらの未入会者対策としては、本会のみならず、全国の歯科医師会、そして日本歯科医師会においても頭を抱える問題となっています。前述のケースの内、一番目の問題は、以前はあったことかもしれませんが、現在ではこのようなことはないと信じております。また、３番目の問題が最も「悩ましい問題」だと思います。ですが、２番目の問題については、決して解決できないものではないと思っています。もし、入会金を０円にするとすれば、今まで入会金を納めた会員へ、入会金を返還する必要があるでしょうから、これは難しいとしても、本会の入会金（或いは郡市会の入会金）を15年、もしくは20年と長期に亘って分割ができるようにする等考慮し、これまでどおりの会費の会員と、入会金分割した分を会費に上乗せした会員との２本立てで考えてみればいかがでしょう。こうすれば、開業地を他の郡市に変更しても、再度高額な入会金を払う必要がなくなるかもしれません。もしかしたら、これでは会員の開業地の流動化を引き起こすかもしれないという懸念もないとは言えませんが、開業に係る高額な資金等を考慮すればこれは杞憂にすぎません。

このような考え方は、以前からあったと思いますが、それを実現できないでいる歯科医師会にこそ、問題の根源があるような気がしてなりません。

私は、本会の会計常務という立場から、あまりシステムが変わりますと、大変ではありますが、長い目で見れば、このような問題こそ、解決すべき最優先の問題ではないかと思っております。

全議案を可決承認

― 平成18年度臨時代議員会 ―

９月16日（土）午後２時より県歯会館４階大ホールにて臨時代議員会が開催された。代議員46名全員出席で古賀議長のもと、議事録署名人に蔵田議員（熊本市）、増田議員（八代市）を選出し、全議案を可決承認した。

審議に先立ち、平成18年度中に亡くなられた３名の物故会員に対する黙祷を行った。

堤会長あいさつ

会館のこけら落とし、引越しもとどこおりなく終わり、会館も使えるようになって来ました。

４月から新しい執行部で、ちょうど半年が経過したところでございます。来年の100周年に向けて記念式典と祝賀会を計画しているところで、又100周年史の編集に取りかかっているところであります。

今回の改正にあたっては厚生労働省から歯科医師会には何の連絡もありませんでした。まずは「国民がどう思っているか」のデータが必要だと思われます。歯科も社会的民意を得ることが必要だと思われます。

厚生労働省のトップの事務次官の方をお招きし15人の先生方と「生きる力を支える歯科医療」というテーマで座談会をもちました。点数改正とか診療報酬の適正化といった話の中で医療費総枠制は駄目だ、という話が出ました。例えば実際にはレセプトが35兆円くらいになったとします。そうすると総枠を減らそうとか１点10円を１点９円にしようとか、そういう事をシステム化しようというのが医療費総枠制であります。そういうことをすれば日本の医療は絶対駄目になる、という事を訴えました。

そういった事を申し上げさせていただいて会長あいさつとさせて頂きます。

平成18年度熊本県学校保健功労表彰

熊本県教育委員会内藤係長より出席した７名の先生に表彰が行われた。表彰者を代表して小柳大明会員（熊本市）が謝辞を述べた。

表　彰　者　名　簿

（順不同、敬称略）

氏　名	勤　務　校　名
古賀　　明	熊本市立出水南中学校
小田　和人	熊本市立東町小学校
山村　定信	熊本市立託麻西小学校
久保田晴一	県立熊本農業高等学校
伊藤　友巳	熊本市立城南小学校
村上　雄二	熊本市立弓削小学校
松本　孝治	荒尾市立荒尾第三中学校
田代　正博	阿蘇市立碧水小学校
坂本　彰宏	山都町立御岳小学校
今藤　隆文	人吉市立東間小学校
秋山　雅治	県立多良木高等学校
小柳　大明	県立湧水館高等学校
吉良　裕明	熊本市立銭塘小学校
片山　幸博	大津町立大津南小学校

これからも頑張っていきます

平成18年度九州地区連合歯科医師会会員表彰名簿

（順不同、敬称略）

氏　名	表彰該当任期
牧　　正仁	平成６年４月１日～ 平成15年３月31日　理事 平成15年４月１日～ 平成18年３月31日　常務理事
水野　完治	平成６年４月１日～ 平成12年３月31日　理事 平成15年４月１日～ 平成18年３月31日　常務理事
菅原　　洋	昭和57年４月１日～ 平成15年３月31日　代議員 平成15年４月１日～ 平成18年３月31日　副会長

退職役員表彰名簿

（順不同、敬称略）

氏　名	役　職	任　期
牧　　正仁	理　事 常務理事	平成６年～14年度 ３期 平成15年～17年度 １期（通算12年）
水野　完治	理　事 常務理事	平成６年～11年度 ２期 平成15年～17年度 １期（通算９年）
増田　　了	理　事	平成12～17年度 ２期（６年）
菅原　　洋	副会長	平成15～17年度 １期（３年）
入江　英仁	理　事	平成15～17年度 １期（３年）
河上　　正	監　事	平成15～17年度 １期（３年）

12年間の理事職に対して表彰

議　　事

第１号議案　社団法人熊本県歯科医師会定款の一部改正（案）の承認を求める件

第２号議案　社団法人熊本県歯科医師会共済互助規則の一部改正（案）の承認を求める件

第３号議案　熊本歯科衛生士専門学院の一部改正（案）の承認を求める件

第４号議案　平成17年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出決算（案）の承認を求める件

第５号議案　平成17年度特別会計収入支出決算（案）の承認を求める件

１熊本県歯科医師会共済互助会計収入支出決算

２熊本歯科衛生士専門学院会計収入支出決算

３歯科衛生士養成所巡回臨床実習事業会計収入支出決算

４熊本県歯科医師会口腔保健センター会計収入支出決算

５熊本県歯科医師会労働保険事務組合会計収入支出決算

６熊本県歯科医師会産業歯科会計収入支出決算

７熊本県歯科医師会積立金会計総括収入支出決算

８熊本県歯科医師会歯の衛生週間事業会計収入支出決算

９熊本県歯科医師会収益事業会計損益決算

10熊本県歯科医師会資金調整基金会計収入支出決算

11熊本県歯科医師会介護者歯科実技研修事業会計収入支出決算

12熊本県歯科医師会創立100周年・熊本県歯科医師国民健康保険組合創立50周年・熊本歯科衛生士専門学院創立45周年・熊本県歯科医師連盟創立55周年記念事業会計収入支出決算

13熊本県歯科医師会会館建設・歯科衛生士専門学院増設工事会計収入支出決算

正味財産増減計算書、賃借対照表並びに財産目録　別紙資料

監査報告

第６号議案　平成18年度特別会計熊本県歯科医師会会館建設・歯科衛生士専門学院増設工事会計補正予算（案）の承認を求める件

第１号議案

社団法人熊本県歯科医師会定款の一部改正（案）の承認を求める件

（提案理由）

新会館への事務所移転に伴い、事務所所在地の条文を新住所に変更する。

社団法人熊本県歯科医師会定款の一部改正（案）

現　　行	改　　正
第１章　総則 （事務所） 第２条　本会は、事務所を熊本市坪井２丁目３番６号に置く。	第１章　総則 （事務所） 第２条　本会は、事務所を熊本市坪井２丁目４番15号に置く。 附則 この定款は、熊本県知事の認可のあった日から施行する。

第２号議案

社団法人熊本県歯科医師会共済互助規則の一部改正（案）の承認を求める件

（提案理由）

現行規則の障害給付金は、会員が公的年金に関連する法律（国民年金法等）、身体障害者福祉法、労働災害補償保険法により障害一級に認定された場合に100万円を支給するとなっているが、このたび、厚生・管理委員会の答申の趣旨を踏まえ、障害一級に限定されている現行規則を障害二級、障害三級まで拡大するものである。

歯科医師として稼動不能な会員に対する給付要件を緩和するものであり、現行規則の拡大に伴う申請率予測及び財政などを考慮した結果、大きな影響はないことから給付を拡大する。

社団法人熊本県歯科医師会共済互助規則の一部改正（案）

現　　行	改　　正
第６節　障害給付金 （支給要件） 第27条　障害給付金は、会員が次の各号の一に該当する者に支給する。 （１）公的年金に関連する法律（国民年金法等）、身体障害者福祉法、労働者災害補償保険法により障害一級に認定された場合 （２）器質性痴呆又は植物状態患者となり介護を必要とする場合（ただし、死亡給付金は、当該会員がすでに障害給付金を受けた場合は支給されない）	第６節　障害給付金 （支給要件） 第27条　障害給付金は、会員が次の各号の一に該当する者で、歯科医師免許を返納した場合に支給する。 ただし、障害給付金を受けた場合は、死亡給付金は支給されない。 （１）公的年金に関連する法律（国民年金法等）、身体障害者福祉法、労働者災害補償保険法により障害一級・二級及び三級に認定された場合 （２）器質性の認知症又は植物状態患者となり介護を必要とする場合 附則 この規則は、平成18年10月１日から施行する。

第３号議案

熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）の承認を求める件

（提案理由）

平成19年４月１日から３年制教育をスタートすることに伴い、本年３月４日に開催した平成17年度通常代議員会において、学則の一部改正「平成19年４月１日施行」（案）を提出しご承認をいただきました。

その中で「学科課程及び授業時間数」について再検討した結果、これから国家試験問題が難しくなっていくことが予想され、現在の国家試験合格率（100％）をより確実なものとするための復習科目として、また学生が３年間学んだ履修学科を総合的に理解させることを目的として「総合歯科学」を新たに設定することと、専門基礎分野における「解剖学」の時間数の追加及び「生理学」の単位を４単位から３単位に修正することを提案いたします。

なお、この学則の一部改正は平成19年４月１日から施行することといたします。

第４号議案

平成17年度
社団法人熊本県歯科医師会一般会計収入支出決算

収入予算額156,453,000円　　支出予算額　156,453,000円
収入決算額167,955,717円　　支出決算額　133,361,049円
次期繰越収支差額　34,594,668円

収入の部

款	項	科　目	予算額	決算額	予算との差額 増	予算との差額 減	執行率	備　考
1		会費収入	116,051,000	115,877,020		173,980	99.9%	
	1	会費収入	69,340,000	68,572,000		768,000	98.9%	未納者２名
	2	収入割収入	45,106,000	45,445,000	339,020		100.8%	未納者４名
	3	会館費負担金	1,605,000	1,860,000	255,000		115.9%	分割払60名
2		未収入金収入	318,000	316,120		1,880	99.4%	
	1	未収入金収入	318,000	316,120		1,880	99.4%	前年度７名分
3		入会金収入	3,300,000	3,140,000		160,000	95.2%	
	1	入会金収入	3,300,000	3,140,000		160,000	95.2%	一括払２名・分割払19名
4		補助金等収入	15,777,000	17,241,670	1,464,670		109.3%	
	1	受託金収入	8,253,000	8,816,170	563,170		106.8%	衛生士学院補助金 巡回臨床実習事業補助金 口腔保健センター補助金 歯の衛生週間事業負担金 介護者歯科実技研修事業委託金 障害児口腔ケア事業委託金
	2	助成金収入	5,000,000	5,884,500	884,500		117.7%	健康診断 九地連公募研究事業助成金 日歯役員選挙改革に伴う経費補助金
	2	日歯事業助成金収入	2,524,000	2,541,000	17,000		100.7%	都道府県事業助成金
5		雑収入	831,000	1,067,050	236,050		128.4%	
	1	受取利息	161,000	148,950		12,050	92.5%	普通・定期預金利息
	2	広告費収入	570,000	660,000	90,000		115.8%	熊歯会報・熊本県歯科医学大会抄録広告料
	3	雑収入	100,000	258,100	158,100		258.1%	年金基金協力謝金等
6		寄付金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
	1	寄付金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
7		繰入金収入	8,175,000	4,192,061		3,982,939	51.3%	
	1	入会金積立金会計繰入金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
	2	他会計繰入金収入	4,174,000	4,192,061	18,061		100.4%	共済互助会計、収益事業会計より
	3	資金調整基金繰入金	4,000,000	0		4,000,000	0.0%	
		当期収入合計	144,453,000	141,833,921		2,619,079	98.2%	
8		前期繰越収支差額	12,000,000	26,121,796	14,121,796		217.7%	
	1	前期繰越収支差額	12,000,000	26,121,796	14,121,796		217.7%	平成16年度より
		収　入　合　計	156,453,000	167,955,717	11,502,717		107.4%	

支出の部

款	項	科　目	予算額	決算額	予算との差額 増	予算との差額 減	執行率	備　考
1		会議費	6,036,000	4,191,802		1,844,198	69.4%	
	1	総会費	275,000	183,878		91,122	66.9%	日程作成・懇談会費等
	2	理事会費	3,278,000	2,453,668		824,332	74.9%	常務理事会・理事会費関係
	3	諸会議費	2,483,000	1,554,256		928,744	62.6%	郡市会長・専務理事会議・代議員会費関係
2		事業費	56,597,000	52,095,925		4,501,075	92.0%	
	1	医道高揚費	350,000	168,160		181,840	48.0%	古稀会員表彰
	2	地域保健事業費	1,000,000	614,558		385,442	61.5%	笑顔ヘルＣキャンペーン関係
	3	総合政策推進費	2,600,000	2,266,433		333,567	87.2%	8020推進財団賛助会費、九地連協議会開催費、三地区役員連絡協議会開催費等
	4	総務企画費	3,000,000	2,310,378		689,622	77.0%	モニター会議関係費、熊本県警察歯科医会関係費、九地連協議会時局講演会開催費、障害児口腔ケア事業関係費等
	5	保険対策費	5,231,000	5,165,348		65,652	98.7%	医療賠償保険・役職員業務災害保険
	6	会員福祉費	5,176,000	4,965,450		210,550	95.9%	健康診断、医療事故・苦情処理手当 部活動補助金
	7	各種委員会費	2,000,000	1,165,313		661,261	58.3%	「医療トラブルと法的対応」作成費等 医療対策費へ款内流用　153,426円 各郡市事業助成金へ款内流用　20,000円

款	項	科　目	予算額	決算額	予算との差額		執行率	備　　考
					増	減		
	8	学術費	3,206,000	3,099,417		106,583	96.7%	生涯研修セミナー・熊本県歯科医学大会・有料研修会開催費等
	9	社会保険費	4,370,000	4,177,932		192,068	95.6%	個別相談会、各郡市点数改正説明会出席旅費等
	10	地域保健費	1,998,000	1,962,677		35,323	98.2%	介護者歯科実技指導者研修会関係費等
	11	厚生・管理費	2,536,000	2,516,697		19,303	99.2%	スタッフ接遇セミナー、シニア倶楽部関係費等
	12	広報費	3,844,000	3,688,542		155,458	96.0%	熊歯会報・ニュースレター発行、ＨＰ管理運営関係費等
	13	学校歯科費	2,157,000	1,624,707		532,293	75.3%	夏ゼミ・学校歯科保健推進大会開催費等
	14	医療対策費	2,349,000	2,502,426			106.5%	医事処理に関する関係費等 各種委員会費より款内流用　153,426円
	15	センター・調査・ＩＴ費	1,207,000	1,180,722		26,278	97.8%	障害者歯科診療研修会開催費等
	16	各郡市事業助成金	7,650,000	7,670,000			100.3%	各郡市配賦 各種委員会費より款内流用　20,000円
	17	関係団体補助助成金	250,000	250,000			100.0%	衛生士会へ
	18	受託事業関係費	3,189,000	3,189,000			100.0%	歯の衛生週間事業会計へ
	19	郵送費	3,484,000	2,786,220		697,780	80.0%	全会員発送分料金
	20	諸支出金	1,000,000	791,945		208,055	79.2%	関係団体年会費・定期購読、日歯法人会費
3		管理費	67,466,000	60,005,736		7,460,264	88.9%	
	1	役員報酬	9,434,000	9,274,636		159,364	98.3%	役員19名
	2	職員給料	18,536,000	17,613,485		922,515	95.0%	職員７名
	3	諸給与	12,032,000	10,045,560		1,986,440	83.5%	役職等各手当・賞与
	4	職員福利厚生費	4,980,000	4,238,047		741,953	85.1%	社保･厚生年金･雇用保険･日歯互助会他各会費
	5	役員旅費交通費	9,052,000	7,583,564		1,468,436	83.8%	各団体会議出席、出張旅費
	6	職員旅費交通費	1,604,000	970,187		633,813	60.5%	タクシー代・職員出張旅費
	7	需用費	6,931,000	5,887,168		1,043,832	84.9%	電話・切手・宅急便・インターネット使用・電話保守・事務用品・コピー使用・その他
	8	会務運営関係費	600,000	186,790		413,210	31.1%	裁定審議会・選挙管理委員会費等
	9	嘱託費	978,000	895,440		82,560	91.6%	顧問会計士・弁護士報酬等
	10	渉外費	2,550,000	2,547,683		2,317	99.9%	各関係団体に伴う祝儀・香典・御樽・会費・その他、お中元・お歳暮等
	11	雑費	769,000	763,176		5,824	99.2%	新聞購読料・ゴミ処理代等
4		維持費	7,112,000	5,462,586		1,649,414	76.8%	
	1	設備管理補修費	820,000	107,887		712,113	13.2%	立看板シート張替え代等
	2	光熱水費	1,557,000	1,288,755		268,245	82.8%	水道・電気・ガス・電気保安
	3	管理人件費	1,233,000	1,232,044		956	99.9%	
	4	管理清掃費	824,000	823,700		300	100.0%	
	5	保険料	137,000	56,662		80,338	41.4%	火災保険料
	6	固定資産税	2,359,000	1,864,024		494,976	79.0%	
	7	維持雑費	182,000	89,514		92,486	49.2%	マットリース料等
5		固定資産取得支出	2,000	0		2,000	0.0%	
	1	什器備品購入支出	1,000	0		1,000	0.0%	
	2	その他の固定資産取得支出	1,000	0		1,000	0.0%	
6		特定預金支出	4,333,000	3,330,000		1,003,000	76.9%	
	1	基本財産引当預金	1,000	0		1,000	0.0%	
	2	償却資産引当預金	1,000	0		1,000	0.0%	
	3	役員退職引当預金	830,000	830,000			100.0%	積立金会計へ
	4	職員退職引当預金	1,000	0		1,000	0.0%	
	5	入会金引当預金	1,000,000	0		1,000,000	0.0%	
	6	記念事業引当預金	2,500,000	2,500,000			100.0%	記念事業会計へ
7		繰入金支出	9,753,000	8,275,000		1,478,000	84.8%	
	1	繰入金支出	9,753,000	8,275,000		1,478,000	84.8%	衛生士学院会計 巡回臨床実習事業会計 口腔保健センター会計 歯の衛生週間事業会計 介護者歯科実技研修事業会計
8		予備費	5,153,000	0		5,153,000	0.0%	
	1	予備費	5,153,000	0		5,153,000	0.0%	
		支　出　合　計	156,452,000	133,361,049		23,090,951	85.2%	
		当期収支差額		8,472,872				
		次期繰越収支差額	1,000	34,594,668	34,593,668		999.9%	

第５号議案

平成17年度　特別会計収入支出決算書

会　計　別	予算額	収入額	支出額	収支差額
共済互助会計	101,335,000	111,611,632	45,619,950	65,991,682
衛生士専門学院会計	74,476,000	73,870,603	68,870,603	5,000,000
巡回臨床実習事業会計	2,090,000	1,801,179	1,801,179	0
口腔保健センター会計	21,959,000	21,025,484	21,025,484	0
労働保険事務組合会計	5,995,000	8,611,732	4,941,694	3,670,038
産業歯科会計	2,601,000	3,234,126	514,666	2,719,460
歯の衛生週間事業会計	4,140,000	4,274,615	4,178,109	96,506
資金調整基金会計	77,285,000	81,286,549	0	81,286,549
介護者歯科実技研修事業会計	1,262,000	1,260,001	1,260,001	0
熊本県歯科医師会創立100周年・熊本県歯科医師国民健康保険組合創立50周年・熊本歯科衛生士専門学院創立45周年・熊本県歯科医師連盟創立55周年記念事業会計	4,154,000	3,500,025	105,000	3,395,025
会館建設・歯科衛生士専門学院増設工事会計	247,005,000	344,497,955	233,798,110	110,699,845

議案に対する質疑応答

向江議員（球磨郡）；センターの休日診療についてだが休日診療をしている医院も多く来患数も減少方向と聞いている。現在の状況やセンターの存在意義、業務の見直しについて考えがあればお伺いしたい。

執行部；見直しについては考えている。年末やゴールデンウィークなど連休になると来患は多い。身障者治療に重点をシフトしている。

質問に答える上田会長

事前質問

温議員（鹿本郡市）；歯科衛生士の３年制移行に伴い、その業務範囲を法的に拡大するよう関係省庁に働きかけてほしい。

執行部；平成15年１月に歯科衛生士業務検討委員会が行われ、その中でも業務拡大の要望が出ていたが、はっきりとした言葉は出ていない。その中にあっても前向きに検討する。

清村議員（熊本市）；会館及びその敷地内において全面禁煙化は実現出来ないものだろうか。

執行部；会館設計の際会員の要望を聞き入れ、目立たないところに、ということで喫煙所を設けた次第である。会館完全禁煙化は確かに必要と考えている。会員にはコンセンサスを深め極力会館では吸わない様ご理解いただきたく思う。

全館全面禁煙化を考えてはどうか

清村議員（熊本市）；郡市をまたがって診療所を移転する場合、移転先で便宜が図れるように入会金を県歯会が統括することは出来ないか。

執行部；各郡市会は独立した社団であり、未入会対策と併せて検討したい。

清村議員（熊本市）；現在代議員会は土曜の２時くらいから開かれる事が多いようであるが、４時あるいは５時といった時間から開催する事は出来ないか。

執行部；遅い時間の開催となるとその日のうちに帰宅出来ない会員も出てくる。日曜祭日でも構わない、という事であればその点も含めて考えていきたい。

原賀議員（鹿本郡市）；歯科医師の指示指導のない状態での歯科衛生士単独の歯科保健指導の法律的可否について

執行部；歯科衛生士法に照らすと保健指導は全面的に問題はないと思われる。

以上質疑応答を終了。

（広報　阿久根秀典）

―臨　時　総　会―

議長に野村議員、副議長に三隅議員を選出し、物故会員に対する黙祷、会長あいさつに引き続き総会資料に沿って報告に移った。浦田専務より会務報告の中において、衛生士学院増設工事は順調に進んでおり、来年２月には完成の予定である等の現況報告があった。続いて、西野常務理事の会計報告、片山監事の監査報告があり、満場一致で承認された。

その後、上田副会長より日歯代議員報告、古賀代議員会議長より総会に先立って行われた代議員会の審議経過報告があり、協議の中で歯科衛生士の業務範囲の拡大の要望があった事などや執行部より、本年11月と来年１月に行われる学校歯科医研修会への郡市会会員の積極的な参加の要望があった事も報告された。

（議事）

第１号議案　社団法人熊本県歯科医師会定款の一部改正（案）の承認を求める件

第２号議案　平成17年度会計別決算書（付財産目録）（案）の承認を求める件

第３号議案　平成18年度特別会計熊本県歯科医師会会館建設・歯科衛生士専門学院増設工事会計補正予算（案）の承認を求める件

上記第１号～第３号までの議事は賛成多数により全て原案通り可決承認された。

なお協議事項として、平成20年から開始される公益法人改革についての説明等があり、最後に日歯代議員選挙のあり方について、出席している会員よりアンケートを採った後、上田副会長の閉会の辞を以て総会は終了した。

（広報　岩崎　晃司）

郡市会紹介アンケート

①会長の氏名
②郡市会員の数
③年間行事、事業について
④郡市会の内部で現在問題となっていること
⑤郡市会で現在計画されている事業及び将来の夢
⑥郡市会のキャッチフレーズや特徴

下益城

①氏名：大森　秀則
②27名
③・６月歯の衛生週間のイベント［ダイヤモンドシテイ・バリュー］
・11月三郡市歯科医師会［宇土・上益城・下益城］
学術講演会
ゴルフコンペ
・12月・１月・忘年会、新年会と数年に１回の親睦旅行
④平成の大合併により宇土郡市と下益城郡にまたがる宇城市が昨年１月に誕生して１年半が過ぎ、宇土郡市歯科医師会と下益城郡

歯科医師会での話し合いでも未だ解決案が見つかりません。

理事会報告

理事勉強会を毎月開催し、実りあるものに！

― 第８回理事会 ―

９月26日（火）午後６時より県歯会館第１会議室にて堤会長他全役員出席のもと議長を堤会長議事録署名人を伊藤、竹下理事両理事とし開催された。

堤会長あいさつ

早いもので、今年度も半分が経過しようとしています。理事の先生方には、それぞれの事業計画に基づき各事業を進めていただきありがとうございます。この半年間でいろいろな遂行方法を模索したり、さまざまなアイデア・企画を検討されたり、と大変ご苦労をされたことと思います。今後の会務につきましてもよろしくお願いいたします。

さて、次年度の事業計画・予算を検討する時期になりました。経験と実績を生かしながら、立案していただければと思っています

来月から定期的に理事勉強会を開催しようと考えています、それぞれが講師となって、得意分野を講義し、それを皆で拝聴して各々のスキルの幅を広げることができればと思い企画したものです。皆で知恵を振り絞っていただき、実りある勉強会にできればと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

報　告

総　　務：第９回･10回日歯常務理事会、第５回･６回日歯理事会、第３回･４回日歯戦略会議、日歯代議員会、日歯通常総会、第６回理事会、第14回・15回理事会、臨時代議員会、臨時総会

学　　術：高校ラグビー部マウスガード講演会、各郡市学術担当者会

社会保険：社会保険事務局との打合せ、社保説明会、保険個別指導、郡市社保説明会（荒尾市、八代人吉市、天草郡市）

地域保健：子育てすくすく博、県歯科保健推進会議ワーキング部会、笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ会

厚生管理：九州各県医療管理担当者会、九州各県厚生担当者会、健康診断

広　　報：「熊歯会報」９月号編集･校正、ヘルＣフォトコンテスト

学校歯科：日学歯学校歯科保健研修会（九州ブロック）、県学校保健研究協議大会、県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査会

医療対策：医療相談、沖縄県医療苦情・医療トラブル研修会

センター・調査ＩＴ：第２回日歯ＩＴ化推進委員会、ＳＯ日本夏季ナショナルゲーム熊本第３回実行委員会

学　　院：学院体験入学、学院実習指導担当歯科衛生士研修会、学院始業式、全国衛生士教育協議会九州地区会、学院患者誘致実習

国　　保：九歯連役員会、全協九州支部幹事会・総会・役職員研修会

以上、８月19日から９月20日までの総務、各委員会、他の動きについて、堤会長及び担当各役員より報告がなされた。

報告その２

１．平成19年度各委員会事業計画案・概算要求協議日程

11月29日（水）～12月１日（金）の３日間で開催する。

また、各委員会の事業の注意点、見直し点については常務理事会で示唆する予定であり、資料は準備が出来次第、担当理事へ配布する。

２．関係機関・団体からの委員推薦依頼

①熊本県保健医療推進協議会委員
堤　会長
（委嘱日から平成20年３月31日まで）

②熊本県民テレビ「子育て応援団すこやか2007」実行委員会委員
八木理事（委嘱日から平成19年２月28日まで）

３．関係機関・団体からの共催・後援依頼

①熊本県民テレビ「子育て応援団すこやか2007」（共催）

②熊本県健康福祉部「平成18年度骨髄バンク及び臓器移植普及推進月間記念講演会」（後援）

③済生会熊本病院「第７回日本クリニカルパス学会学術集会」（後援）

４．関係機関・団体からの募金依頼

①本会会員への熊本県学校保健会財源援助募金の呼びかけ
（９月29日　全会員あて文書発送）

②熊本県体育協会免税募金
（100,000円　一般会計予算措置有り）

５．部活動補助金交付申請

①野球部②テニス部両クラブとも補助金を交付予定

６．学院平成19年３月卒業予定者の求人募集

「熊歯会報」10月号発送時に告知文書を同封、及び９月末日のニュースレターに記事掲載することにより、各会員へお知らせする。

７．児童虐待に関するパンフレットの作成

歯科医師向けのパンフレットを企画している。現在、熊本県と交渉しているが、予算化されれば、本格的に製作にとりかかる。

８．学術講演会「審美歯科臨床と院内チームワーク」の開催

11月12日（日）午後１時～５時の日程で開催する。

９．第二期工事工程

解体工事は８月29日に終了した。その後、地盤養生を経て杭工事を行っており、いよいよ基礎工事が本格化する。工事工程は台風等の影響もなく順調に推移している。

10．各会計８月末現況ついて

西野常務から詳細に報告され、各担当理事に執行率を確認するよう指示があった。

11．その他

なし

協　議

１．新入会員の承認（承認）

○一般会員１名（阿蘇郡市１名）の入会を承認した。

２．肥後銀行の融資協定利率変更申し入れ（承認）

日本銀行のゼロ金利政策解除を受け各行による預金金利引上げが行われているが、これに伴い、肥後銀行からも同行との協定融資を0.25％引上げたい旨の申し入れがあったことについて、原案通り承認した。

３．本会創立100周年ほか国保・学院・連盟の創立記念事業（承認）

①事業進捗予定表（案）

②熊本県知事表彰申請の推薦基準

③会長・理事長・学院長・連盟長表彰要綱(案)

進捗予定表については、進捗状況を付記したものを次回理事会に資料として提出する。知事表彰については再度、熊本県の担当者に確認する。なお、③の所属長表彰については90周年記念ほか、それぞれの周年記念の受賞者は除くこととする。また、祝賀会の記念アトラクションについては、実行委員会で検討した上で改めて協議することとした。

４．三地区役員連絡協議会の提出協議題（承認）

11月18日（土）に開催される同協議会の提出協議題について、意見がある場合は10月７日（土）までに浦田専務理事に提出することとした。

５．その他

◎代議員会、総会の決定事項の発送〔浦田専務理事〕（承認）

各会員へは事前資料を送付していること、及び「熊歯会報」に記事として掲載していること等から、全会員発送は行わないこととした。なお、今後は「熊歯会報」に会計関連を含めた、より詳細な決定事項を掲載する。

◎介護保険研修会〔松岡理事〕（承認）

10月14日（土）午後３時より「介護保険新予防給付の概要」と題して、同研修会を開催することとした。

◎ホームページへの情報提供、及び理事会メーリングリスト〔高松理事〕（承認）

各委員会からのホームページへの情報提供については、締切日を毎月15日とする。なお、提供情報については、各委員会で責任校正の上で事務局へ投稿することとする。

また、メーリングリストについては、理事専用のアドレスを用いて、メーリングリストを構築したので、各々でメール設定を行い、今後意見交換等で有意義に活用をすることとした。

最後に小島副会長より今後の予定についての確認があり閉会した。

（広報　宮坂　圭太）

お知らせ

平成18年度日歯生涯研修セミナー＆会員発表

日　時　平成18年11月26日（日）午前９時30分～午後４時00分（予定）
会　場　熊本県歯科医師会館　４Ｆ大ホール

〈内　容〉

①　生涯研修センター（ＤＶＤ版）…テーマ『生活習慣（病）にどう関わるか』

「患者さんから教えてもらったこと」ーセルフケアとプロフェッショナルケアのバランスー
三上直一郎先生（東京都会員）

「継続は力なり…歯周病治療のメインテナンスから」千葉英史先生（千葉県会員）

「歯周病が全身に及ぼす影響」石川烈先生（東京医科歯科大学名誉教授）

ディスカッション　コーディネーター　北川原　健先生（長野県会員）

〈次ページにつづく〉

②　会員発表

※昼食の事前予約を11月20日まで受付ます。「日歯セミナー昼食申し込み」とご記入いただき、①会員氏名　②個数　③ＦＡＸ番号を明記のうえ、ＦＡＸにてお申し込み下さい。なお、11月20日以降の変更は出来かねますので、予めご了承ください。

お弁当…1,000円（税込み・お茶付）受付の時お支払下さい。昼食券をお渡しします。

日歯学術研修事業の改善に大いなる期待

― 九州各県学術担者者会 ―

学術委員会

平成18年度九州各県学術担当者会が10月７日（土）午後２時より、宮崎県歯科医師会館において開催され、熊本県から伊藤理事と学術委員会副委員長の牛島が参加した。鬼村宮崎県副会長の開会の辞に続き、田島宮崎県会長および日歯の江里口彰常務にご挨拶いただいた。出席者の紹介のあと、杉尾宮崎県理事が座長、高良沖縄県理事が副座長に選出され、会議が開始された。

まず、日歯報告として、江里口常務より生涯研修セミナーの改善、日本歯科医学会との連携強化、ＦＤＩ、臨床研修医問題などについて話があった。

続いて、平成18年度の各県学術関係事業計画と予算についての報告と協議を行なった。特に今回議論が集中したのが、生涯研修ＤＶＤセミナーと市民向けアピールの方法についてであった。ＤＶＤセミナーについては、生涯研修セミナーのライブ講演が各年九州で１ヵ所のみの開催であるためにＤＶＤの鑑賞だけでは参加率が低く、セミナーの盛り上がりにかけるため、各県その対応に苦慮しており、改善策についての論議が行なわれた。熊本県では11月にＤＶＤセミナーと同時に会員発表を開催することを報告した。また市民への歯科医師会としてのアピールについては、市民向け講座などもその運営方法が難しく、各県の事例などを元に、現在積極的に行なわれている宮崎県のパールリボン運動による市民向けのキャンペーンなどを参考に各県で協議を行なった。

例年以上に白熱した意見が交わされた。

江里口常務より、生涯研修セミナーの改善等について話があった

また、続く日歯との意見交換のなかで、学術関係のあらたな取り組みとして以下のものなどを江里口常務からお話いただいた

- 日歯生涯研修セミナーのライブ講演の開催地を増やす
- 来年の日歯生涯研修セミナーのテーマ「いつまでもおいしくいただくために」－咬合の長期安定を求めて－
- 日歯雑誌のＷｅｂ掲載上でのカラー化
- 日歯生涯研修ライブラリーＤＶＤを日歯雑誌３月号に添付。会員全員配布。
- 生涯研修カードの廃止、ＰＣ入力などによる研修登録システムの導入
- 日歯ホームページでの認定証、修了証取得者の提示方法の改善（国民へのさらなるアピール）

大久保新執行部となり半年が過ぎたが、学術関連事業については各県の意見をいままで以上に吸収し、よりよい方向に改善していく姿勢が感じられ、大いに期待したいところだ。最後に藤木宮崎県専務理事により、10月28、29日の九州地区連合歯科医学大会への参加の呼びかけとともに、閉会の辞で無事幕を閉じた。

今回の担当者会は例年以上に白熱した意見が交わされ、大変実りのある会議となった。

（学術　牛島　　隆）

今回の改定の問題点を協議

― 九州各県社会保険担当者会 ―

社保委員会

平成18年度九州社会保険担当者会が、平成18年10月７日（土）午後２時より熊本県歯科医師会館４階ホールで開催された。日本歯科医師会から渡辺三雄常務をお招きし、九州各県社保担当理事、社保委員、熊本県からは、堤会長、上田副会長、浦田専務、中嶋常務が出席され33名の参加であった。

堤会長、渡辺常務の挨拶後、渡辺常務よりまず日歯報告が行われた。要旨としては、日歯改革プロジェクトで検討を重ねた結果、外部より６委員を招いて日本歯科総合研究機構を立ち上げる。目的としては日本歯科医師会が諸事業を実施する場合その意思決定を行い、それを表明する際の支援のために必要な調査、研究、分析を行う。歯科医師の需給問題については歯科大学の定員削減と国家試験の合格ラインを引き上げることを厚生労働大臣と文部科学大臣に確認書をもらっているということである。

また今回の改定の主な問題点として下記のようなことがあげられる。

１、歯科医学的根拠および臨床現場の実態に対する認識を欠いた変更及び義務・規制の導入

２、従来認められてきた患者・国民の保険診療受診の既得権の制限の危険性

３、診断・治療に対する専門職としての歯科医師の裁量権および診療報酬請求権の侵害の恐れ

４、改定項目による財政影響の推計の不確実性

この問題点をふまえ緊急改善要望17項目、早急改善要望13項目、年度内要望17項目を出し、27項目に関しては疑義解釈等により改善された。

中医協においては、歯科疾患総合指導料に対する文書提供の調査をする予定であったが総合指導料を算定している医療機関が少ないため、文書提供全体の調査に変更されているので必ず文書を交付してほしいとの事であった。

文書提供の調査があるので、必ず交付してほしい

日歯報告後、社保担当者による協議に入った。各県提出の協議題として、患者提供文書、領収書発行に関すること、Pの患者の再度の初診起こしについて、咬合調整について、摘要欄の記載についてと今回の改定についての協議が大半であった。

日歯への要望の回答では、文書提供については提供文書の簡略化に努めていきたいこと、レセプトオンラインシステムではオンライン化が困難な会員の支援を行うこと、レセプトのみをオンライン化することなどを進めているということである。

２時から５時30分まで休憩時間もとらずに熱のこもった協議がなされた。また今回は会館ができ初めて他県を招いての会議ということでマイクの不手際等もあったが概ね順調に会議がおこなわれた。今回の反省を踏まえ次回はよりよい会議がなされることだろう。

（社保　田中　栄一）

会員が幸せに日常診療に当たれる環境づくりを！

― 九州各県厚生担当者会 ―

厚生・管理委員会

平成18年10月７日、福岡県歯科医師会館において九州各県厚生担当者会が開催され、吉田副会長と瀬井厚生・管理委員長が出席した。

中川福岡県常務理事の司会進行で、永田福岡県専務理事が開会の辞を述べられた。

まず、秋山福岡県会長が「福岡の新規開業者の入会率は40％を下回っているし、個人情報保護のため、会費は収入割をなくし均等割のみになっていることから、未入会者対策が益々重要になってきている。歯科医師会に入会するメリットとしても、福祉共済の充実を図ることが必要である。」、続いて右田日歯常務理事が「日歯会員が幸せに日常診療に当たることができる環境づくりを行うことも日歯の大きな仕事の一つである。日歯年金は安定しており是非加入していただきたい。」との挨拶があった。

続いて、出席者紹介の後、座長に永田福岡県専務理事が、副座長に井上佐賀県財務運営部理事が選出された。

その後、右田日歯常務理事が日歯報告をされ「４月１日の保険改定による点数の切り下げ、膨大な情報提供文書の問題に対処するため診療報酬緊急対策チームを立ち上げ、５月連休明けには逗子で日本歯科医学会、連盟を交えて一泊二日で勉強会を行い、湘南宣言としてまとめあげた。６月には大久保日歯会長が日歯改革プロジェクトを示した。

現在、保険に関しては摘要欄記載事項の減少、略称の使用を認める等、一定の改善は認められるものの、中医協の場で決定されたことであるため、抜本的な改善は次期改定で求めていくことになると思われる。将来のレセプトオンライン化、需給問題に関しても積極的に対応しているところである。」とのお話しがあった。

次に協議に移り、各県から平成18年度の厚生関係事業計画・予算に関しての報告が行われた。協議題としては①会員厚生事業の実施状況とその補助金について（宮崎）②代診派遣制度の現状について（宮崎）③福祉共済制度等に関する今後の見直し及び検討について（鹿児島）が提出されており、①に対して本県の各クラブの加入者数及び補助金について説明した。②に関しては、宮崎県では歯科医師を歯科医師会あるいは衛生士学校の職員として雇用し、会員急病時の代診派遣にあてることを検討しているそうであり、各県の意見を聞きたいとのことで、本県の代診派遣制度（給与・期間・旅費・住居費・各種保険）について説明を行った。③に対しては、本県の「入院給付金」「自宅療養給付金」「生前給付金」について説明した。続いて佐賀県から日歯へ「公益法人改革」に関しての質問があった。右田日歯常務理事より「公益法人となるには、公益目的事業の事業比率が50％以上でなければならず、共済・年金制度は共益事業として把握され、公益事業として認められない。そのため、共済・年金制度の切り離しも検討せざるをえず、何とか例外規定を設けて、このまま存続できるように働きかけていくつもりである。」とのお話があった。

最後に、鶴田福岡県常務理事が閉会の辞を述べられ終了した。

（厚生・管理　瀬井　知己）

臨床現場の視点から歯科医療に責任を持つ

― 都道府県歯科医師会地域保健・産業保健担当理事連絡協議会 ―

地域保健委員会

上記会議が10月11日（水）午後１時30分より日歯会館１階大会議室で開催されました。

まず、大久保日歯会長の挨拶があり「国民の歯科医療に責任を持つ組織は厚労省と歯科医師会の二つしかなく、会員が現場で患者を診るという視点から学んだ考え方が日歯の論理である。我々はこれからも堂々と日歯の論理を掲げて進む。これは、歯科医師や歯科医師会のエゴではなく、臨床の現場で患者から学んだことが我々の考え方の基本である。しかし同時に、長期的視点から、制度をどう維持して行くかということが厚労省視点である。この二つの視点があまりに乖離すると、結果として国民が不利益を被ることとなる。双方が出来るだけ乖離しないように議論を続けることも重要である」と述べられました。

次に、座長に山崎芳昭日歯地域保健・産業保健担当理事を選出し、厚労省健康局総務課生活習慣病対策室長の矢島鉄也氏による「医療構造改革における生活習慣病対策の推進について」と題する講演がありました。現行の老人保健法は平成19年度で終了し、20年度から新制度がスタートします。その中で、同法により現在市町村で行われている歯周病健診（節目健診等による）が20年度以降どうなるのかという事は、我々が非常に懸念している所です。説明によると、歯周病健診はガン健診等と共に健康増進法のもとで20年度以降も実施されるとの事でしたが、実施の根拠となる財源（予算）については20年度の予算折衝が行われる来年度の推移を見てとの事で、不透明な感は否めませんでした。

座長を務められた山崎日歯地域保健・産業保健担当理事

生活習慣病対策の推進について述べられる厚労省矢島室長

その後、日歯地域保健委員会および産業保健委員会による「医療制度改革の全体像」「食育基本法に対する対応について」「第34回産業歯科医研修会実施要領」などの報告、説明がありました。さらに、連絡・協議事項として「平成18年度地域保健・産業保健関係アンケート結果の概要と今後の対策の進め方について」があり、事前に各都道府県歯科医師会に対して行われたアンケート結果についての集計とその分析および、本年度における日歯が取り組む方向性の説明がありました。その内容としては、両委員会に「メタボリックシンドローム特定健診・特定保健指導への対応」「標準的成人歯科健診プログラム」「老健法歯周疾患検診への対応」「介護予防・介護保険」など12のプロジェクトを設置して進めて行くとのことでした。

最後に、各県担当者から医療制度改革に関連する高齢者医療制度、診療報酬体系の見直し、医療費適正化に向けた関連施策、メタボリックシンドロームへの対応、地域支援事業や新予防給付の問題点など多くの質問がありました。各県とも、来る医療制度改革への対応にたいへん苦慮している様子が伺え、日歯と共に各県歯会の一致団結した検討と行動の必要性を痛感しました。

（地域保健　八木　義博）

広報の重要性を再認識!!

― 九州各県広報担当者会 ―

広報委員会

日歯のTVスポットCMについて

10月７日（土）午後２時より沖縄産業支援センター―において、平成18年度九州各県広報担当者会が開催された。熊本からは、宮坂理事と私、加藤が出席しました。各県とも広報活動において何か得るものを持ち帰ろうという意欲がみられる会となりました。まず、真境名沖縄県副会長の本日は遠いところをおいでいただき有意義な会となりますよう活発な意見交換をお願いしますとの挨拶で始まり続いて、日歯の小谷田常務理事から、九州は大変広報活動が盛んで日歯の広報活動にもぜひ参考にしたいので忌憚のないご意見をお聞かせ下さいとの挨拶があった。座長を松島沖縄県広報委員長に選出後、４月からの日歯の活動状況について小谷田常務より日歯報告がなされた。その中で、日歯改革プロジェクトの１つである研究機関（日本歯科総合研究機構）の設置については、当初、外部組織として設立するとなっていたが研究機関を日歯内部に設置することに関わる定款改正案を来年３月の代議員会に上程することやH23年度レセプトオンラインに対する日歯の見解と日医との連携の重要性についての話があった。次に協議事項について会は進行し、内容は以下の通りです。

協　議

日歯への質問事項

歯科医院の検索サイトやランキングサイトへの対応についてお聞かせ下さい。

意図的に個人の宣伝に悪用されている場合など　（鹿児島県）

回　答

違法性の面では、現時点で取り締まることは難しい。事例が出た場合まず

県レベルで対応していただき、日歯での対応が必要か判断するとのこと。

各県提出協議題について

大分県

①現在、県歯月報作成に割り当てている費用を、同じ費用を使うのであれば、県民向けの広報誌作成費に割り当てたいと考えたことはありますか？

各県とも県歯月報の重要性は、共通の認識である。月報の質を落とさないで経費を削減することに各県とも努力されている。その中で鹿児島県のように会員向け広報誌は広報委員会、対外広報は対外PR委員会と役割分担をはっきり分けて活動されている県もある。

日歯　小谷田常務……コスト削減のため一部ペーパーレス化、徳島県の事例で役員や会員への連絡にレンタルサーバー（無料サイト）の利用が紹介された。

②TVスポットCM（よ防さん）をどのように活用していこうと考えておられますか？

（よ防さんとは、日本歯科医師会が現在作成しているTVスポットＣＭの予防に関する新キャラクターです。）

TVスポットCMを活用する予定また実際活用する県は少なく、よ防さんについて知らない県もあった。制作費980万程度で次年度も継続して使用する場合さらに経費が必要であるとのこと。

佐賀県

①各県において、行政とタイアップしての広報活動、事業は行われていますか。

厚労省の8020運動推進特別事業補助金の申請を県から国にあげてもらい、補助金を受け啓発活動を行っている。　（福岡県）

鹿児島県歯会館内にあるかごしま保健協会が行政との広報活動、共同事業を。県歯と行政をつなぐ役割、県からの委託料700万、具体的な内容はあまり話せないとのこと。（鹿児島県）

8020推進事業の一環で、会員による沖縄本島縦断駅伝大会　（沖縄県）

②本県では、昨年、対外広報活動として「歯の川柳」のコンテストを行いましたが各県ではどのような対外的広報活動、啓発活動をされていますか。

各県とも8020推進運動の一環として独自の歯科保健の普及啓発事業の実施。

長崎県

①各県歯科医師会ホームページの中で、会員向けページの具体的な内容について出来る範囲でご教示頂きたい。

内容はあまり各県変わらず。

熊本県

①各県の周年事業に対する広報費用とそ内容をご教示下さい。

各県とも記念誌の作成や記念式典の開催が主で、福岡県も来年100周年を迎えるが県民向けに家庭歯学事典をDVDで発行予定、記念誌とで予算1800万。

②各県のテレビ、ラジオへの予算の費用対効果についてご教示下さい。

各県とも費用の面で活発なマスメディアを利用した活動は行っていない。佐賀県は民放１社しかないためテレビ広報PRの予算を執行。（予算約180万）

鹿児島県

①「歯科医療の現状を住民に理解していただく」という趣旨で広報活動をされている、あるいは広報企画をされている県があれば、その内容を教えていただきたい。

（医師会では「医療を考える」と題し、住民が参加した大きなイベントを民放と提携して行い特番としてテレビ放送。反響大。

活動、企画している県は、少ない。10社のマスコミの局長クラスと懇親会、意見交換（佐賀県）。一部そういう面もあるモニター会議（熊本県）。歯科でもやれて、九州大手民放に取り上げてもらい放送されれば効果が上がるのでは？、日歯も参考に！（宮崎県）。

②ネット上の法規制は、まだまだ整備されていなのが現状です。例えば、歯科医院の検索サイトやランキングサイトには著しく品性を欠くものや事実とかけ離れたものを見かけます。このままで良いのかどか、各県の広報担当者として何かご意見がございましたらお聞かせ下さい。

各県とも規制は難かしいという見解。法的規制できなくても歯科医師会として何らかの指針を策定する時期に来ているのでは。（鹿児島県）。

宮崎県

①広報誌印刷業者に入札制度か見積もり等をとられていますか？また広報誌の部数・平均ページ数・印刷費・カラー表紙代などの実情を教えてください。

各県とも経費節減のため努力されている。

沖縄県

①会誌掲載に適さない会員からの投稿の処理方法について

各県とも掲載しないまたは再度提出してもらう。

協議事項

その他

日歯の広報活動について小谷田常務より

・会員向けのメルマガ配信について

・国民向けのホームページの充実

沖縄県

アンケート調査をもとに歯科医療の現場を新聞に掲載。

（広報　加藤　久雄）

資格関係誤りレセプトの発生防止にご協力を！

熊本県社会保険診療報酬支払基金

平成18年４月～６月の３か月間の資格関係誤りの発生状況は、件数で2,673件、金額では25,518千円となっています。これを誤り発生医療機関だけでみますと、１医療機関当たり７件の63千円になります。

主な発生理由は、「資格喪失後の受診」が30.5%、「記号・番号の誤り」が31.2%、「旧証によるもの」が13.5%で、全体の75.2%を占めています。

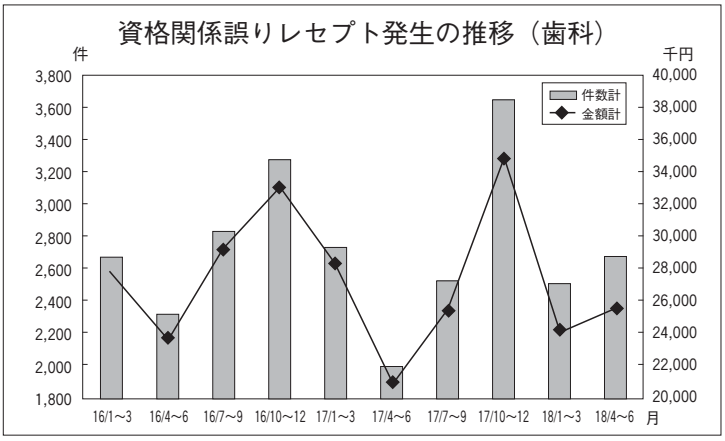
この種の誤りは、資格確認事務の負担だけでなく、診療報酬の収納の遅延や未収により医療経営にも影響を及ぼしかねません。

次の点にご留意いただき、発生防止にご理解とご協力をお願いいたします。

① 月１回は被保険者証又は老人保健受給者証をご確認下さい。提示されない場合は、被保険者証等の変更の有無について、声をかけるよう配意願います。

（主な発生理由別の状況）　　平成18年４月～６月実績

発生理由	件数	割合(%)	発生理由	件数	割合(%)
資格喪失後受診	817	30.5	旧証によるもの	361	13.5
記号・番号の誤り	834	31.2	認定外家族	139	5.2



② カルテへの転記、レセプトへの入力の際には、複数の職員による確認又は確認済み印を押印する等が有効と思われますので、ご検討願います。

③ 被保険者証は、保険者の合併、解散又は被保険者の転職、転勤、退職等により随時変更になりますので、被扶養者（家族）も併せて確認願います。

理由別資格関係誤りレセプト発生の推移（歯科）

理由	17/10～12		18/1～3		18/4～6	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
11　記号・番号の誤り	1,000件	10,426千円	821件	8,621千円	834件	8,284千円
12　患者名の誤り	19	336	11	111	23	264
13　認定外家族	127	1,369	103	824	139	1,066
14　該当者なし	56	559	53	504	74	849
15　保険者番号と記号の不一致	19	156	19	210	19	177
16　旧証によるもの	692	5,524	255	1,721	361	2,920
17　本人・家族の誤り	65	684	34	282	42	421
18　資格喪失後の受診	1,262	11,516	701	5,929	817	7,589
19　重複請求	122	1,115	135	1,076	109	1,227
20　給付対象外傷病(業務上)	2	21	0	0	0	0
21　給付対象外傷病(適用外)	0	0	0	0	0	0
22　老人保健・国保該当	21	227	21	289	18	325
23　給付期間満了	1	1	1	2	2	23
24　その他	256	2,825	350	4,490	235	2,373
計	3,642	34,759	2,504	24,058	2,673	25,518

郡市会だより

口腔機能向上の実際

― 菊池、鹿本合同学術研修会 ―

鹿本郡市

9月30日（土）午後3時より、鹿本郡市歯科医師会事務所において、菊池鹿本合同学術研修会が行われた。講師に、九州歯科大学保健医療フロンティア科学分野健康増進学講座の安細敏弘助教授をお招きし、「口腔機能向上の実際」と題し講演頂いた。

・高齢者の口腔内・具体的な口腔機能評価法

聞き入る会員

・口腔乾燥症、舌痛症、非シェーグレン症候群・治療法などについて、詳しくご教授頂き、症例も提示して頂いた。また、北九州市で行われている、大学・歯科医師会・行政との三位一体の口腔機能向上の取り組みについてのお話も伺い、とても羨ましく思うと共に、地域によって行政の取組み方に差がかなりあるように感じた。

口腔機能の向上取り組みについて

4月より施行された新予防給付の対象となる特定高齢者の評価・ケアプランや日々の臨床に役立つ、大変興味深い講演であった。

（髙水間　奨）

ハードルが高くなる一方

― 社保研修会 ―

人吉

9月19日午後7時30分より、人吉市のあゆの里にて県歯社保委員会による、社保研修会がおこなわれた。

10月から義務化される詳細に書かれた領収書の発行、交付文書の発行といろいろと、ハードルが高くなる一方である。

そこで今回は、交付文書作成ソフトの配布とソフトの使用法について、講師に社保委員会の前田委員長をお迎えして研修が行われた。

各自会員の先生方にパソコンを持参していただき、前田委員長の独自で開発された、交付文書作成ソフトの説明を行われました。また、領収書発行にあたっての注意点ににについても詳しく説明していただきました。社保委員長の前田先生には、改正で大変な時期に交付文書作成ソフトの開発と大変ご多忙の中で会員の為にご尽力いただき会員一同感謝をしております。

（瀬戸　雄行）

郡市会だより

「歯恩の碑」前で歯牙に哀悼

― 第48回歯牙供養祭 ―

9月30日（土）1時45分より天草市南公園『歯恩の碑』前において第48回歯牙供養祭が行われた。これまで歯牙供養祭は旧本渡市を中心に松島、牛深など各地区へ移動して行われていたが、今回は我が天草郡市歯科医師会がほこる全国的にも稀有な『歯恩の碑』前で久々に行われた。

森口専務理事の開会の辞に続き鬼塚前県歯会長により『歯恩の碑』建立当時の経緯をお話頂き、昭和44年当時会長の横山先生、県歯学校歯科からご尽力頂いた栃原先生ほか多くの先輩の先生方の御努力の結実であることを改めて認識した。

続いて久々山会長による祭文奏上が行われ、さらに本妙寺住職の読経が流れる中会員が次々に焼香を行った。最後に松田常務理事が、大臼歯と下顎骨を模ったモニュメントのもとへ供養された歯牙を納めて会は滞りなく終了した。

「歯恩の碑」前にて供養が行われた

歯牙供養祭は毎回物事に対する感謝の念、大事なものを後世へ残そうとする気持ちを再確認できる良い機会である。今回は少しでもこの取組みを一般の方々にも知ってもらおうとＴＶ、新聞各メディアへ報道依頼を行ったが、各社あまねく広報していただいたことを付け加えたい。（槌元亮二郎）

天草郡市

リベース成功の秘訣は…？

― 第43回歯科学会 ―

歯牙供養祭に引き続き午後３時よりホテルサンロード５Ｆ会議室に於いて第43回天草歯科学会が行われた。今回は長崎大学歯学部展開医療科学講座歯科補綴学分野の村田比呂司教授をお招きし「軟質義歯裏装材について」というテーマでご講演頂いた。

軟質のリベース材といっても大きくは１アクリル系、２シリコーン系、３溶材の入ったＴコン系の３つに分けられ、アクリル系は接着性、調整時の削合性には優れるが表面の劣化が早く硬くなりやすいこと、シリコーン系は表面の安定性には優れるが接着性に劣りまた部分的削合が難しくはがれやすいこと、などその特性を見極めて使用することが重要であると話された。さらに直接方より1.5～２㎜の裏装材の厚みが確保できる間接法の方が望ましいこと、Ｔコンの長期使用は口腔カンジダ菌の温床になりやすいことなど、開業医の我々にも解りやすい説明であった。

裏装材について話される村田教授

懇親会でも会員各々が日頃疑問に思っていることなどを質問し、また村田教授が初めて訪れられた天草の地も多くの同窓の先生達の歓待で遅くまで盛り上がっていた。

（槌本亮二郎）

郡市会だより

対話と効果を全面に…

―例　会―

菊池郡市

9月29日（金）菊池市笹の屋にて健康診断及び例会が行われた。三隅会長からは「対話と効果を前面に押し出していきたい。理事会では若い理事3名が加わり、監事の先生も参加していただいて毎回11時近くまで討論が交わされている。1人1人の意見を吸い上げるようにしていきたい。漫然と事業をこなして行くのではなく、社会的に効果のある事業にしていきたい」との挨拶がなされた。各委員会報告の後、新入会員の工藤謙太郎先生から「工藤晃正の息子になります。ラグビーばかりやってきたので一から色々学んでいきたいと思っています。宜しくおねがいします」との自己紹介があった。また今年より70才以上の会員をねぎらう「元気会」が設立され、鹿井省文先生（77）が表彰された。鹿井先生より「昭和42年に入会しました。100才まで頑張る、と語っておられた開田先生が96才で亡くなり、次が僕になってしまい寂しさは禁じ得ません。大病をして一時は10キロも体重が減ってしまいましたが、今は医者から減量を命じられています。若い人達と少しでも接していきたいと思っています」との挨拶があり、三隅会長より記念品が贈呈された。

表彰される鹿井先生

（阿久根秀典）

10年・20年先を見すえた会の運営を

―総　会―

八代

9月9日（土）午後3時より八代ロイヤルホテルにおいて平成18年度総会が開催された。中川専務の司会進行のもと、上野副会長の開会の辞に続き議長に上三垣会員、副議長に若槻会員、議事録署名人に松枝・溝口両会員を選出した後、会長挨拶があった。

増田会長は挨拶の中で「激動する社会、歯科界に対応する為、既存の物をどう活用し、何を新しくしていくべきか、10年・20年先を見すえた会の運営をしていかなければならない。その為にも執行部に対し率直で前向きな意見を出してほしい。」と語られた。

激動する社会、歯科界に対応していかなければならない

その後は報告に移り、会務（上野副会長）、口腔保健センター休日歯科診療（蓑田理事）、会計（守永常務理事）、国保（若槻会員）、各種委員会等の報告がなされた。

議事では、平成17年度の一般会計収入支出決算、口腔保健センター会計収入支出決算、共済金会計収入支出決算、特別会計収入支出決算、口腔保健センター償却積立金会計決算の承認を求める件の第1号～第5号議案は満場一致で可決承認された。

その後の協議の中では、八代市の事業であるヤング検診と節目検診への歯科医師会としての関わり方について会員同士の活発な意見交換が行われ、最後に守永常務理事の閉会の辞により総会は終了した。

引き続き午後6時よりパーティー会場に場所を移して懇親会が行われた。堤県歯会長、坂田八代市長ら19名の来賓が出席され、酒を酌み交わしつつ会は大いに盛り上がった。地域の福祉を担う方々との語らいは、会員にとって歯科界の事だけでなく八代の未来をも考える良い機会となったようである。（岩崎　晃司）

郡市会だより

新入会員の承認と領収証発行および交付文書の作製

― 臨時総会および社保研修会 ―

9月28日（木）午後7時半より阿蘇郡市歯科医師会臨時総会及び社保研修会が阿蘇郡市医師会館に於いて、行われました。田代会長あいさつの後、支部旅行、学校歯科研修会、スペシャルオリンピックス、口腔ケア研究会等の報告が行われました。続いて、阿蘇市、安光千昭氏、高森町、三森康弘氏の新入会員の承認が全員一致で行われました。

臨時総会終了後、県社保委員会の前田委員長、中村副委員長をお招きし、社保研修会が行われました。10月1日から義務化される内訳のわかる領収書の発行について、又、先般会員に配布された交付文書ソフトの有効な活用方法について、詳しく説明して頂きました。この日は平日にもかかわらず夜10時半ぐらいまで研修をして頂きました両先生、本当にありがとうございました。

新入会員の紹介

領収書の発行とソフトの活用法

（馬谷　　真）

阿蘇郡市

合い言葉は「供給が需要を喚起する！」

～関係者を巻き込んだ継続可能な口腔ケア研究会を視野に入れた～

― 口腔ケア会員研修会 ―

歯科医師の役割は口腔の健康を通じて、乳幼児・学齢期においては生きる力を育み、青壮年・高齢期においては生きる力を支援することにより、生涯にわたる生活の質（QOL）を高めることです。私達は歯や歯周組織の健康の維持など口腔の器質面、咀嚼・嚥下や発音・構音などの機能面、食欲増進・味わい・コミュニケーションといった心身の健康及び社会性の為の取り組みを行う責務を持っています。

高齢期においては全人的な尊厳を保ちながら自律的健康管理から他律的健康管理へ移行していくプロセスに、歯科医師が訪問歯科診療や口腔機能向上・口腔ケア等を通じて関わりを持つ事が極めて重要であり、単なる延命ではなく生きがい寿命を延ばすことに寄与するものと確信しています。また、口腔機能は生命の根源に関わる生活機能であり、口腔機能の向上は投薬等の対処療法と違い原因療法的な要素を持っています。

しかしながら、口腔ケア等のニーズは極めて低く、私達はその現状を憂慮すると共に、「需要が供給を喚起するのではなく、供給が需要を喚起する！」を合い言葉に地域での口腔ケア等のニーズを掘り起こす為に、関係者を巻き込んだ継続可能な口腔ケア研究会を視野に入れた会員研修会を立ち上げました。

第一回の研修会は、県歯の松岡理事（センター・調査IT)を講師にお迎えし、「口腔ケアと介護保険」の演題でご講演いただきました。

口腔ケアのニーズを掘り起こしてください

（田上　大輔）

郡市会だより

新型インフルエンザを理解する

― 定例勉強会 ―

上益城

9月19日（火）午後7時30分より御船町のクレインパレスにて、定例勉強会が行われた。今回は、御船保健所長の佐藤克之先生を講師としてお招きし、新型インフルエンザについて講演して頂いた。

講演では、インフルエンザA型ウイルスを例にあげ基本構造から説明があり、タミフルは、NA（ノイラミニダーゼ）が細胞を出る際に作用して、他の細胞に感染することを防ぐことで効果を示すことや、インフルエンザ宿主動物と亜型、歴史からみると約40年周期で新型インフネエンザウイルスが出現していて、ホンコン風邪から計算すると40年でいつ出てきてもおかしくないこと。また、新型インフルエンザ発生状況の段階（フェーズ）からすると、フェーズ3にあたり、鳥インフルエンザがまれに人に感染しているが、新型インフルエンザウイルスは出現していない段階で、フェーズ4になると一気に広がる恐れがあるということでした。

マスコミ、医療関係者に危機感をもってもらいたい

こういった観点から、新型インフルエンザが大流行する確率がかなり高いわけであるが日本のマスコミ等々の関心があまりにも低すぎる為、国民全体の危機感自体も上がってきていないのが現実のようである。我々医療に携わる者が正しくかつ良く理解して、流行に備えておくことが大切であることを、痛感した勉強会であった。　（佐藤　昭彦）

子供の治療が楽しくなる方法

ラバーダム使用の徹底

― 学術講演会 ―

水俣芦北郡市

8月19日（土）に、水俣市の湯の児三笠屋にて、平成18年度水俣芦北郡市学術講演会を行った。今回は、熊本市でご開業の楠こども歯科院長　逢坂宣彦先生をお招きして、「子供の治療が楽しくなる方法」と題して、小児治療の基本を学んだ。

小児の治療が難しいことは言うまでもない。しかしながら、一臨床医として診療をやっていくのであるなら、避けては通れないことは周知の事実である。今回、学んだことの概略を報告する。

①治療器具は前もって準備して、手際よく進める。

②緩やかな母親との分離

診療室にいるかいないかは、母親の判断だが、術者に主導権がある。

③会話を大事にして、うまく治療できたら、誉めてあげる。

④号泣しても、治療を中止しない。泣いたら、治療をやめてくれると考えてしまう。

⑤痛くない麻酔

○表面麻酔を使用する。医科で使用する皮膚用のペンレスを小さく切って、使用することは効果的である。

○刺入点は、歯肉頬移行部に行い、傍骨骨膜麻酔を行う。

⑥ラバーダムを使用する。

防湿、誤嚥などの事故防止の為にも、ラバーダムは小児治療において、最も大事である。

治療が楽になり、そして楽しくなるそうである。

⑦修復法

⑧咬合誘導

上顎前歯が口蓋に転位していることがある。この場合は、アイスクリームの棒などで、口蓋側から圧を加える。これを家庭で寝る前にやってもらう。

この中で、とくに先生が強く唱えたことは、ラバーダム使用の推進であった。

（井上　真樹）

学院だより

白熱した好試合

― 第50回熊本県専修学校各種学校連合会体育大会 ―

この大会は、県内の専門学校等が参加する大会で今回は記念すべき第50回大会となりました。本学院生徒も例年、体力作りと他校との交流を目的として参加していますが、今回初めて女子バレーボールトーナメントにおいて準優勝を勝ち取り、素晴らしい活躍を致しました。本年度の大会では、バレー、バトミントン、バスケット、ソフトテニスの４種目に参加しました。バレー以外の３種目は少ない練習時間のハンディを克服して善戦したにもかかわらず残念ながら１回戦で敗退しました。

バレーボールは参加校10校のトーナメントで行われました。熊本社会福祉専門学校との１回戦では一時10点差をつけられましたが、粘り強く挽回し２対０で勝ちました。

西日本リハビリテーションとの２回戦では試合の途中に、３名の選手が足の筋肉を痛めながらの出場にもかかわらず連勝しました。３回戦となる決勝戦では、メディカルカレッジ青照館に惜しくも２対０で敗れました。決勝戦では３名の筋肉痛を抱えての試合に、ベンチ入りをしていた専任教員の先生方が大変心配され、選手達に試合中止の相談を持ち出したところ選手一同、万難を排して最後まで戦いに挑むことを誓い合いました。結果は準優勝に終わり、あと一歩で優勝を逃しましたが、１回戦での10点差からの挽回、足の筋肉痛を抱えて最後まで戦い続けたこと、更には観客席からの制服姿の本学院生による期せずして起こったウェイブの大応援を受けながら、選手と一体になったこの現象に観客の１人として感動の連続であったと同時に学院生の誇りを強く感じました。(副学院長　出口　俊雄)

万難を排して勝ち取った準優勝

ニューグルメハンター

和食料理

楽座

ちょっとおしゃれな店

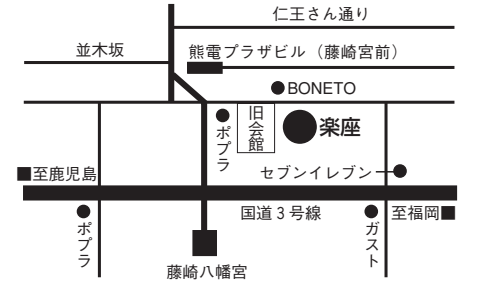
営業時間　ランチ　11：30～14：00
　　ディナー18：00～23：30
定 休 日　日曜定休、祝日不定休　TEL096-346-6610
住　　所　熊本市坪井２丁目３－８

場所は、旧歯科会館隣。店内は、明るく落ち着いた和の雰囲気で、幅広い年齢層のお客さんが来店されるとのこと。テーブル４（16席）・カウンター（７席）・座敷も20名ほど入れる。

店長は、２児のパパで９月にこの店をオープンさせたばかり、魚は毎日新鮮なものを仕入れおり、刺身はとても美味しい。お勧めは、骨なし焼豚足、豚バラ軟骨やわらか煮、じゃがいも饅頭、辛子蓮根など。各種酒あり（カクテル、ワインも）。

コース料理（お１人様）3150円～。飲み放題（２時間）は、料理ともで4725円～。予約して行かれた方がいいかも？

ACCESS MAP



つどい

今年は強いぞ。19得点で２連勝だ

― 第17回６県歯科医師会親善野球大会 ―

第17回６県歯科医師会親善野球大会が、熊本市平山町の県民総合運動公園で開催された。プレ九地連として行われているこの大会も、17回目となった。今年は新たに、福岡県歯科医師会西地区と山口県歯科医師会も参加して、７チーム計150名が熱戦を行った。

試合前に開会式が行われた。そこでは、久しぶりに顔を合わせる各県の選手と再会を喜び、健闘を誓い合う顔が多数みられた。また、大会会長である菅原洋部長の挨拶ならび審判長の諸注意、西正浩の選手宣誓が行われた。

さて、試合は各県抽選により２試合行われた。われわれは、鹿児島県歯科医師会と山口県歯科医師会と対戦した。第一試合は、鹿児島県歯科医師会との試合となった。同チームは、投打にバランスがとれたチームである。優勝するには、勝って弾みをつけたいチームである。熊歯は、１回表の攻撃で、渡辺裕と田中のヒットと盗塁などで、二死二塁三塁のチャンスを迎えると、５番井野の左越え二塁打で２点を先取する。つづく２回表の攻撃でも、渡辺洋と吉崎が連続安打でチャンスメークすると、渡辺裕と西の連続タイムリーで３点を追加して、序盤で試合を優位に進めた。先発河合は、相手の３番打者にホームランを浴びて１点を失うが、この１点に抑えた。途中リリーフした田中が、制球難からピンチを迎えるが、リリーフした上田が抑えた。

第二試合の山口県歯科医師会は、平成12年以来６年振りの対戦。初回に、熊歯は木屋の三塁打などで２点を先制する。その後も３回には福井の三塁打などで５点を追加した。さらに最終回には、上田の犠飛、温のタイムリーなどでさらに５点を追加した。今季２度目の先発となった木屋は、一回裏を無失点に抑えたが、２回表の走塁時に足を負傷して降板となった。しかし、リリーフした河合と上田が、山口打線を１失点に抑えた。なおＭＶＰは、この試合で２三塁打の福井が選ばれた。

謝辞：最後に、今年も大会運営に際し、早朝からご協力いただいた（株）共和薬品の田村実雄氏ならび（株）カドカワの吉住　央氏に対して、心から謝辞を申し上げます。

第一試合

熊本県歯科医師会	2	3	0	0	1	0	6
鹿児島県歯科医師会	0	0	0	1	0	1	2

（熊）河合、田中、上田―渡辺洋
（鹿）中園―林川
▽本塁打　山口（鹿）▽三塁打　西（熊）
▽二塁打　井野（熊）　西（熊）

第二試合

熊本県歯科医師会	2	1	0	0	5	13
山口県歯科医師会	0	0	1	0	0	0

（熊）木屋、河合、上田―渡辺洋
（山）伊藤―澄川
▽三塁打　木屋（熊）福井２（熊）
▽二塁打　阿久津（山）

150名の選手が集った九地連前哨戦

＊本大会のことが、９月27日の西日本新聞で紹介されました。

その他の試合結果
山　口　４－４福岡西
鹿児島　９－３福岡南
福岡西　７－３佐賀
宮　崎　23－１福岡南
宮　崎　５－４佐賀

参加者：菅原、千場、藤本、上田、有田、鬼塚、温、中山、河合、渡辺洋、吉崎、右山、村上、井口、田中、井上、井野、西、福井、宮本、渡辺裕、田村、吉住

（井上　真樹）

会　務　報　告

自　平成18年 9月21日
至　平成18年10月18日

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	9月21日	口腔ケア研修会	宮坂理事
		本会100周年・国保50周年・学院45周年・連盟55周年記念史編集合同打合会 ①今後の編集作業の進め方	堤会長、上田副会長、浦田専務理事、前野、上元、上野、逢坂、永野委員
	22日	100周年記念史編集委員会　①記念史編集合同委員会の内容報告 ②各担当者間話し合い	前野委員長ほか6委員
	25日	医療保険者が行う健診・保健指導に関する事業説明会（県庁）	八木理事ほか5名
		支払基金幹事会（支払基金）	堤会長
	26日	第7回理事会　①新入会員の承認　②肥後銀行の融資協定利率変更申し入れ ③本会創立100周年ほか国保・学院・連盟の創立記念事業	堤会長ほか全役員
	27日	第2回日歯機構改革検討委員会（日歯会館）	堤会長
	28日	第7回日歯理事会（日歯会館）	堤会長
		口腔ケア研修会（山鹿市立病院）	宮坂理事
		第1回100周年会員表彰選考委員会	浦田専務理事、逢坂教務部長、上野国保常務理事、有田連盟幹事長
	30日	国立病院機構熊本医療センター附属看護学校創立60周年記念式典及び祝賀会（熊本ホテルキャッスル）	上田副会長
	10月2日	熊本県医療審議会医療法人部会（県庁）	堤会長
	3日	第16回常務理事会　①熊本県歯科技工士試験委員会委員の変更　②熊本県へき地保健医療対策に関する協議会委員の推薦依頼　③九州各県社会保険担当者会の次第・運営	堤会長ほか常務以上役員
		監事月次監査　①月次監査	前野・片山監事
	5日	第5回日歯戦略会議（日歯会館）	堤会長
		第11回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		第1回日歯機構改革検討委員会ワーキンググループ（日歯会館）	堤会長
	6日	第2回日歯厚生委員会（日歯会館）	堤会長
	7日	100周年記念史編集委員会　①年表に伴う資料部分の作成及び提出	前野委員長ほか5委員
	8日	日本歯科大学創立100周年記念式典・祝賀会（ホテルニューオータニ東京）	堤会長
	10日	第2回本会・国保・連盟役員合同勉強会	堤会長ほか23役員
	11日	日本学校歯科医会三役打合せ会（ホテルグランドパレス）	堤会長
	12日	第12回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
	13日	労働保険事務組合実務担当者研修会（くまもと県民交流会館パレア）	岡書記
		県プライマリ・ケア研究会世話人会（県医師会館）	小島副会長
	14日	城南五郡市連絡協議会（チサンホテル人吉）	上田副会長
	17日	本会創立100周年記念知事表彰・教育委員会表彰の依頼 医療政策総室・健康づくり推進課・体育保健課（県庁）	浦田専務理事、中島事務局長

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	17日	第17回常務理事会　①熊本県プライマリ・ケア研究会世話人の推薦依頼　②各委員会平成19年度事業・予算立案に伴う助言事項　③会館１階ロビー貸出しに伴う「利用手引き」	堤会長ほか常務以上役員
学　術	９月25日	学術小委員会　①日歯生涯研修セミナーＤＶＤ　②会員発表　③11／12松風学術講演会	伊藤理事、松永委員長ほか２委員
	10月７日	九州各県学術担当者会（宮崎県歯会館）	伊藤理事、牛島副委員長
	12日	学術委員会　①ＤＶＤセミナーと会員発表　②レントゲン写真の見方パネル作製　③有料研修会（熊本市）	伊藤理事、松永委員長ほか４委員
社　保	９月22日	天草郡市社保研修会（ホテルサンロード）	中嶋常務理事、前田委員長、渡辺委員
	25日	国保連合会との勉強会	勇理事
	28日	阿蘇郡市社保研修会（阿蘇郡市医師会館）	前田委員長、中村副委員長
	30日	社会保険個別相談会　相談者：２名	勇理事、中村副委員長ほか２委員
	10月３日	社会保険事務局との打合せ	中嶋常務理事、勇理事
	４日	社会保険委員会	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長ほか全委員
	６日	保険個別指導（ウェルシティ熊本）	勇理事、前田委員長、田中副委員長
	７日	九州各県社会保険担当者会	堤会長、上田副会長、浦田専務理事、中嶋常務理事、勇理事、前田委員長ほか８委員
	12日	保険個別指導（ウェルシティ熊本）	中村副委員長
	13日	都道府県社会保険担当理事連絡協議会（日歯会館）	中嶋常務理事
地域保健	９月23日	「子育てすくすくこども博」歯科相談（至24日）（グランメッセ熊本）	八木理事ほか16名
	10月７日	九州各県地域保健担当者会（鹿児島県歯会館）	八木理事、川瀬委員長
	11日	都道府県地域保健・産業保健担当理事連絡協議会（日歯会館）	八木理事
	13日	地域保健小委員会①事業所検診結果集計方法	八木理事ほか２名
	18日	笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ　（1）平成18年度ヘルＣキャンペーン実施内容　①無料歯科相談（健診）②中央イベント　③ヘルＣフォトコンテスト　（2）今後の日程	八木・宮坂理事ほか８名
厚生・管理	９月22日	厚生・管理小委員会	竹下理事、瀬井委員長、池嶋副委員長
	28日	玉名郡市健康診断（玉名市民会館）	前田会員
	29日	菊池郡市健康診断（笹乃家）	北川会員
	30日	八代健康診断（八代口腔保健センター）	岡田会員
	10月６日	厚生・管理小委員会　①福歯大との代診派遣制度に関する打合せ　②九州各県厚生担当者会　③医院活性化と患者満足度向上のための講演会	吉田副会長・竹下理事・瀬井委員長
	７日	球磨郡健康診断（あさぎり町上保健センター）	山村会員
		九州各県医療管理担当者会（大分県歯会館）	竹下理事、浦田委員
		九州各県厚生担当者会（福岡県歯会館）	吉田副会長、瀬井委員長
	12日	スタッフ接遇講演会講師との打合せ	竹下理事
	13日	厚生・管理委員会　①講演会企画書　②スタッフ接遇セミナー　③九州各県厚生・医療管理担当者会議報告	竹下理事ほか全委員

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
広　報	9月22日	広報小委員会　①「熊歯会報」10月号、校正②九州各県広報担当者会議	宮坂理事、加藤委員長ほか４委員
	29日	広報小委員会　①「熊歯会報」10月号、第２回校正	宮坂理事、加藤委員長、立本副委員長
	10月３日	テレメッセ打合せ　①10月24日（火）放送分打合せ	宮坂理事
	７日	九州各県広報担当者会（沖縄産業支援センター）	宮坂理事、加藤委員長
	13日	テレメッセ打合せ　①10月24日（火）放送分打合せ	宮坂理事
	16日	広報委員会　①「熊歯会報」11月号編集　②九州各県広報担当者会③ヘルＣフォトコンテスト審査会	宮坂理事、加藤委員長ほか全委員
	17日	テレメッセ打合せ　①10月24日（火）放送分打合せ	宮坂理事
学　歯	10月２日	学校歯科委員会　①平成18年度学校歯科医研修会	渡辺常務理事、田上委員長ほか６名
	12日	学校歯科委員会　①学校歯科医研修会内容検討	渡辺常務理事、田上委員長ほか５委員
医　対	10月10日	医療相談　①医療相談	犬束理事、片山委員長ほか１委員、前野監事
	13日	医療対策小委員会　①九州各県歯科医療安全対策担当者会議②医療トラブル事例	犬束理事、片山委員長ほか１委員
	14日	九州各県歯科医療安全対策担当者会	犬束理事、片山委員長ほか１委員
調査ＩＴ	10月13日	センター・調査・ＩＴ委員会　①平成18年度介護保険研修会　②ケアマネー研修会　③地域歯科保健担当者会議報告　④ＳＯ出務者確認　⑤メーリングリスト　⑥ホームページの内容	松岡理事、高松理事、松本委員長、小野委員長ほか４委員
学　院	9月21日	学院運営打合せ	上田学院長、堤・出口副学院長、逢坂教務部長
		学院45周年記念誌打合せ	出口副学院長、逢坂教務部長
	23日	学院熊専各連体育大会（益城町体育館）	
	10月４日	九州ルーテル学院創立80周年記念式典（県立劇場）	出口副学院長
	５日	学院推薦入学願書受付（至17日）	
	６日	学院熊専各連体育大会（熊本市総合体育館・運動公園）	沢田事務長ほか４職員
	12日	学院教務委員会　①学科目及び授業単位（時間数）②３年制カリキュラム　③平成19年度講義日程	上田学院長ほか４委員
	14日	臨地実習（高齢者施設５ヵ所）	歯科医師10名、歯科衛生士10名
センター	10月４日	阿蘇郡市口腔ケア研修会（阿蘇郡市医師会館）	松岡理事
	７日	九州各県地域保健担当者会（鹿児島県歯会館）	松岡理事
	11日	菊池地域「摂食・嚥下障害」研修会（ＪＡ菊池パシオン）	松岡理事
	14日	介護保険研修会　受講者数：46名（県歯会館）	堤会長、浦田専務理事、松岡理事、松本委員長ほか１委員
	16日	県との委託事業打合せ（県歯会館）	松岡・八木理事ほか３名
国　保	9月25日	第６回国保理事会（県歯会館）	堤理事長他全役員
	10月12日	全歯連総会（日歯会館）	堤理事長

収益事業からのご案内

まだ高い保険料をお支払いですか？

生命保険の保険料納付は団体扱いがお得です！

個人扱いより保険料が

1.8～3.5% お安くなります。

（保険商品・保険料額によって、割引率が異なります。）

例）月々100,000円の保険料に3.5%割引が適用された場合、月々3,500円お安くなります。月々3,500円の保険料であれば、歯科医師会のグループ保険で死亡保険金額：1,000万円のプランにご加入できます。（43歳　男性の場合）

手続きカンタン。事務局まで電話一本。
あとの手続きは事務局にて代行いたします。

収益事業では、次の生命保険各社と団体契約しております。まだ、歯科医師会の天引きにされておられない方は、是非ご検討ください。

アリコジャパン	第一生命	三井生命
住友生命	ひまわり生命	明治安田生命
日本生命	アメリカンファミリー生命	富国生命
ＡＩＧスター生命	朝日生命	T&Dファイナンシャル生命

※詳細につきましては、**県歯事務局**（FAX096-343-0623　**担当：清水**）まで、ご連絡ください。

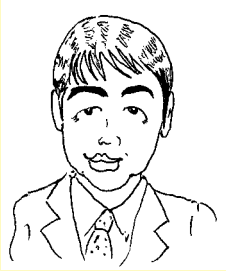
12 行事予定

2日（土）	職員研修旅行（至３日迄）
5日（火）	第20回常務理事会
9日（土）	新入会員研修会
12日（火）	第21回常務理事会
15日（金）	第11回理事会
22日（金）	学院終業式
28日（木）	仕事始め
30日（土）	年末年始歯科診療
31日（日）	年末年始歯科診療

編集後記

今年度から広報委員になりました。県の委員とは全く予想外の出来事で、最初はどうなる事かと思いましたが、M坂理事ら優しい方々に囲まれすぐに打ち解けることができました。3年間精一杯がんばっていこうと思います。

ところで、今さらながら北朝鮮の常軌を逸した行動には本当に驚かされます。世界中を緊張、困惑させた地下核実験、最悪のワイルドカードを使用ってしまった金総書記の狙いはどこにあるのでしょうか？



心から世界の平和を願っています。

（K．I）

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2006年11月15日発行
発行人／堤　直文
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863　熊本市坪井2丁目4-15
TEL 096-343-8020
FAX 096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷